



1. 白とピンクの花が葉の緑に映える / 2. 撮影するなら午前中がおすすめ / 3. 早朝に咲き始め、昼には閉じてしまう / 4. 花言葉「清らかな心」のとおり 気高く咲き、見る者を癒す

「花の名所がまたひとつ」

梁川八幡神社の参道わきの湿地帯で、ハスの花が見ごろを迎えています。このハスは滋賀県草津市から伊達市に贈られたものです。東日本大震災の復興支援をいただいたことをきっかけに草津市と交流が始まり、2014年11月には友好交流都市になりました。昨年4月、八幡様周辺整備協議会と富野自治会の皆さんが定植し、新たな花の名所として訪れる人の目を楽しませています。8月いっぱい花が見られるので、友好のハスをぜひご覧ください。

市長コラム



第24回 “とまっぺ” に泊まっぺ！

このたび、伊達市保原総合公園南側に合宿機能を備えた簡易宿泊所が完成しました。市民ならびに工事関係者の皆さまのご理解とご尽力に心より感謝いたします。

この施設は、公園利用者の利便性向上と、併せて、社会環境の変化に対応した“生きる力”を育むため、市内小学校5年生全員を対象とした通学合宿体験活動の拠点として整備しました。

通学合宿では、子どもたちが炊事、洗濯、掃除などの家事を分担し共同生活を行いながら学校に通います。当たり前だと思っていた日常生活を自分たちで経験することにより、感謝の気持ちと助け合うことの大切さ、問題に遭遇した時の解決手法を学んでいきます。残念ながら今年は、新型コロナウイルスの影響により実施を見送らざるを得なくなりましたが、高校・大学の部活動やスポーツ団体などの合宿については、感染防止策を整えたくて8月1日より利用を開始いたします。

また、この施設は公園利用者の休憩所としての機能も併せ持っています。

クラブハウスでは、パークゴルフ場のグリーンを眺め

ながら一息つくことができる“公園のオアシス”として、子どもから大人まで幅広い年代の皆さまにご利用いただけると考えております。

さて、この施設の愛称については、市内の小・中・高校生より528件の応募をいただき、審査の結果、掛田小学校5年生 菅野琥太郎 君の作品「とまっぺ」に決定しました。琥太郎君は、おばあさんがたまに「何々っぺ」と言っていたことを思い出し、それなら泊まるところだから「とまっぺ」がいいなと思って応募したとのことでした。仲の良い友達や仲間、温かい家族、それを見守る地域の人たちの姿が想像され、純朴で優しい響きを感じました。本当に素晴らしい愛称を与えていただいたと思っています。

この簡易宿泊所「とまっぺ」が、伊達市の未来を担う子どもたちの学びと健やかな成長の場として、また公園利用者の憩いの場として多くの皆さまに愛され、「“とまっぺ”に行ってみっぺ」「“とまっぺ”に泊まっぺ」と口々に言っていただけの施設となるよう努めてまいります。どうか皆さん、お気軽にご利用ください。

須田博行